

荒川地区タウンミーティング 意見交換概要

日 時 平成 28 年 7 月 6 日（水）
場 所 荒川公民館
出席者 29 名（男 19 名、女 10 名）

市政一般に対する意見交換

【ホスピタルタウン構想について】

（市民）病院を中心とした地域づくりを目指してほしい。

（市長）地域医療の充実については、しっかりと取り組んでいきたい。市では地域包括ケアシステムの構築に向けて取り組んでいる。医療と介護の連携の強化、サービスの充実を目指していきたい。

（市民）小矢部市には産婦人科が少ない。誘致する構想や計画はないのでしょうか？

（市長）産婦人科の開設は大きな問題。国、県へ要望している。市としては、市内で開業する産科医に対する 1 億円の助成制度がある。また、市外の産科を利用する人には、最大 1 万円の交通費の助成を行っており、現時点でできることはやっている。

【施設の名称の付け方について】

（市民）総合会館・石動コミュニティセンター・勤労青少年ホームの統合施設の名称は親しみのあるひらがなと漢字の組み合わせの名称を募ってはどうか。

（市長）現在、岩尾滝くつろぎ交流館やおとぎの館など、ひらがなと漢字を組み合わせた名称の施設もある。恐らく公募することになると思う。

【地崎新駅設置、石動駅折り返し運転について】

（市民）石動－福岡駅間の地崎新駅設置、あいの風とやま鉄道の石動駅での折り返し運転について検討してほしい。

（市長）地崎新駅の要望については以前から聞いている。あいの風とやま鉄道にも話をしているが、現時点では新駅設置についての財政負担は、全てその当該市が負担することになっている。駅を作るだけでなく、駅周辺の開発も必要なため、検討の時間が必要。石動駅での折り返し運転については、市の最重点要望の一つとして要望している。

【防災備蓄品について】

（市民）災害備蓄倉庫を見学する機会があった。たくさんの物が備蓄されていたが、

女性の生理用品が全く備蓄されていなかった。現在はどのような状況なのか。

(市長) 持ち帰って確認します。

【保育所統合後の施設利用について】

(市民) 保育所統廃合後の施設利用について、荒川地区の形状を考えると、小矢部川氾濫時の避難場所として施設は必要。統廃合後の対応について、今からでも少しずつ考えてほしい。

(市長) 本来ならば統合ということで、類似施設は処分していくべき。地区で必要ということであれば、管理面も含め、地区と協議させていただきたい。

【農道整備について】

(市民) 地崎営農組合横の市道と8号バイパスを結ぶ農道120mについて、柵で閉鎖されているためにゴミ溜めとなっている。早く舗装し、バイパスへの柵を外してもらいたい。

(市長) 国との協議も終わったので、順次進める方向で予定している。